

NPO法人尼崎障害者センター機関誌



創刊号

2010年10月31日発行



NPO法人尼崎障害者センターを設立しました

代表理事 広瀬 徹

障害者福祉はここ数年、支援費、自立支援法と制度の変更が続き、わたしたちはその変更に対応し切れていないもどかしさを持ってきました。

困っている障害者、泣き寝入りをしている障害者、赤字続きの作業所経営、そんな困難は私たち障害者や関連団体が連携できれば、かなり乗り切れると信じます。

尼崎の障害者団体・作業所・障害者・家族を支える為に出来ることは何でもやろうと、市内の障害者団体役員・障害者作業所役員・障害者有志 15 名が集まって、市内の障害者支援の裏方の役割を担う「NPO法人尼崎障害者センター」を 2008 年 8 月に設立し、12 月に NPO 法人認証を受けました。

こうした支援活動は、これまで団体役員がボランティア的に不定期に行ってきましましたが、もうそれでは担えないところへきています。

「公」として障害者相談コーナーなど行政にそうした仕組みはあるのですが、どうしても「官」の発想による動き方となってしまう、私たち障害者の実感とは食い違うものでした。

であるなら「民」が担う「第 2 の公」を自らで創り出そうと一歩を踏み出すこととしました。

そのために市民・企業にきちんと広報して、障害者の支援事業に使うための資金調達（ファンド・レイジング）に挑戦します。

私たちの思いを一步ずつ実現するため、「NPO 法人尼崎障害者センター」を自前で運営します。

ご指導・ご協力ください。



2008.8.30 設立総会 笑顔で

市場火災による類焼

2009年3月8日、尼崎市椎堂1丁目の「ショッピングセンター園和」が全焼し、中にありました「小規模作業所ひまわり福祉作業所」「ひまわり第2作業所」「障害者集いの場かがやき倉庫」が全焼しました。

また同年3月20日の午前1時ころ、尼崎市東難波町4丁目の「難波センター市場」から出火・全焼し、北入口横の「小規模作業所ほほえみ」が類焼・全焼しました。表のシャッターは焼けていませんが、内側は全焼してしまいました。また同市場内に、尼崎市東難波の「地域活動支援センターハオ」の倉庫が設置されていたのですが、保管していた印刷機・コピー機・コンピュータ等たくさんの備品が全焼しました。



災害後、「ひまわり作業所」は近くのガレージをお借りして、自転車組み立ての作業を再開しましたが、当初、トイレもなく移転費用に苦慮していました。

「ほほえみ作業所」は、災害後、一時近くの「東難波福祉会館」に避難していましたが、その時点では喫茶店と手芸作業を再開できる移転先が見つからず再開のめどがたっていませんでした。ハオ作業所は印刷や作業の備品を焼失しましてその再購入の工面が立っていませんでした。

災害前の作業所の活動を再開するには、移転先の敷金・礼金が高額であったり、その大家さんに「障害者の作業所はどうも・・・」と断られたり、また必要な備品の再購入には、多額の資金が必要であって多くの困難がたちふさがっていました。

尼崎市内には当時64ヶ所の障害者福祉作業所等がありました。今回の火災類焼は他人事ではなく、火災直後も電話が飛び交いました。2週間ほどの間に3ヶ所の障害者作業所が被災したことは私たちにとっても衝撃でした。

市内に点在する作業所はこれまで、地域行事への参加ふれあい・バザーなどいろいろな活動を通して、地域づくりへ参加してきました。その中で、福祉施策への気持ちをあわせた要望や、制度改訂についての学習会や情報交換を連携してきました3つの組織「尼崎市内障害者関連団体連絡会」「小規模作業所尼崎連絡会」「NPO法人尼崎障害者センター」が連携して、被災した3つの作業所への救援活動を行うこととなりました。

その3組織で協議をし、3つの作業所を早期に再建するためには、多額の資金が必要だということになりその一部でも支援できればと願い、3ヶ月を期間として総額200万円を目指して、障害者福祉関係の皆様や市民の皆様方に義捐金(1口1000円)のお願いをすることとなり、3月23日より活動を始めました。

「新聞を見た」とすぐに神戸を始め阪神間の善意が寄せられうれしいことでした。

義捐金へのご協力ありがとうございました

～義援金決算報告～

2009年7月2日に支援3組織の担当者が集まりまして、会計監査を厳密に行い、振込み料加入者負担分20,340円、お礼と報告通信ハガキ費16,600円の必要事務通信経費を確定し、残り全額を3作業所へ配分する決定をいたしました。

総額として、ひまわり作業所へ1,266,969円、ほほえみ作業所へ1,266,969円、ハオ作業所へ683,485円を送金し残額0円としました。

最終の収支決算は右の通りです。

<収入>	
義援金収入 166件	3,254,363
収入総額	3,254,363
<支出>	
ひまわり作業所支援金	1,266,969
ほほえみ作業所支援金	1,266,969
ハオ作業所支援金	683,485
加入者負担振込み料 69件	20,340
お礼報告通信費 166通2回分	16,600
支出総額	3,254,363
残金	0

被災した3作業所のその後・・・

「ひまわり第1作業所」

ガレージを借りて自転車組み立ての作業を再開しました。トイレがありませんでしたが、水周り工事をすませ、これからの活動に打ち込んでいます。

「ひまわり第2作業所」

近くのお店のあとを借りることができ、手芸作業のためのマシンなどが焼けてしまいましたので、新しくケーキ作りを始めようとみんなで準備をしています。

「ほほえみ作業所」

なかなか移転先が決まりませんでした。地元の方のご好意で梅香小学校の西門前に作業所の場所を借りることが出来ました。喫茶店が再開できるよう内部工事を進め、6/8にオープンし新しい場所でみんなが集まる事が出来、喜んでます。

「ハオ作業所」

焼失したコンピュータを新規購入し、印刷機はリースとして作業を開始しています。

今回の義援金活動の中で、多くの市民の方々が障害者作業所の実情に目をむけていただいていること、障害者福祉へ多くの地域の補助団体や支援団体が控えていただいていること、これまで力を合わせてきた市内の障害者団体や作業所や障害者・家族の気持ちがつながっていることが再認識できました。なによりも3作業所が活動再開できましたことを皆さんと喜びたいと思います。ありがとうございました。

障害者団体事務の支援作業から始めました

- (1) 障害者団体の会合などの、連絡事務を支援
 - ・月1回の定例会の案内ハガキの送付引き受け
 - ・FAX・電話連絡網の調査と整備
- (2) 障害者団体の会合の際の資料コピーなど準備事務を支援。
- (3) 障害者福祉に係わる有用な情報が寄せられたとき、市内の障害者団体・作業所・事業所にメール・ファックスで伝えています。

生活・福祉の電話相談を始めました

かねてより当法人の支援事業の一つとして、生活・福祉についての相談事業を始めたいと願って準備してきました。

今回、65歳以上の介護保険への切り替えの際の通院介護のわかりにくさ、65歳以上の障害者への後期高齢者健康保険へ移行するかどうかのわかりにくさ、書類提出のわかりにくさなど、いくつか相談も寄せられたのをきっかけに相談事業開始にふみきることとなりました。どうぞご相談をお寄せください。

尼崎障害者センター電話相談受付

電話番号：090-4306-5522

FAX：06-6418-1342

受付時間：火曜日・木曜日の午前9時から午後4時まで

相談内容：福祉サービスの申請・介護保険などの生活・福祉に関する相談全般
費用：無料 情報保護：知りえた個人情報は相談事業にのみ使用



障害者小規模作業所・事業所への支援を模索しています

- ・10人未満で発足せざるをえない小規模作業所の設立を支援し、1年後の法内化を支援します。
- ・法人化の困難な小規模作業所へ法内化の支援を行ないません。十分な話し合いのもと当法人の運営として法内化を目指す支援も考えます。
- ・小規模作業所からの地域活動支援センターへの移行を支援します。
- ・活動できるメンバーがそろえば、就労を目指すパソコン研修を行う常時開設の「地域活動支援センターパソコン工房」などを経営します。
- ・税務会計の専門家へ報酬をお渡しし、作業所・地域活動支援センター・障害福祉サービス事業所などの税務会計を直接支援します。
- ・補助金制度や補助金団体の情報を伝え、申請を支援します。

税務・会計の事務支援をはじめます

2009年2月2日の「尼崎障害者センター基金運営委員会」でNPO法人尼崎障害者センターに対して、「作業所・地活センター・事業所の運営支援事業（税務・会計）100時間分10万円」を補助することが決定されました。この支援事業は、NPOや福祉事業所に関心・知識を持つ税務会計の専門家を選定し、依頼をして報酬をお渡しし、作業所・地活センター・障害福祉サービス事業所などの税務会計を直接支援するという事業です。



作業所・地活センター・事業所相談1ヶ所につき5万円を前渡して、本年度は2ヶ所の税務・会計の相談にのっていただくというやり方を考えています。

現在、引き受けて頂ける税務会計士、相談したい作業所などを募っています。

自前の資金調達（ファンドレイジング）に挑戦しています

尼崎市の障害者・家族・障害者関連団体・作業所等に対して、さまざまな支援事業を行うため、2008年8月に「NPO法人尼崎障害者センター」が設立され、2008年12月に兵庫県よりNPO法人認証を受け活動を始めています。

同時に、NPO法人尼崎障害者センターが行うさまざまな障害者支援事業を補助するため、運営委員会を設け、「尼崎障害者センター基金」を設置しました。

広く市民・企業・団体などへ基金への協賛をお願いし、障害者福祉への民間支援をお願いしようというものです。

昨年3月～6月には市場火災で類焼しました3つの障害者作業所への義援金活動を、「尼崎市内障害者関連団体連絡会」「小規模作業所尼崎連絡会」と連携して、神戸・阪神の市民・団体・企業から、総額3,258,763円の支援を受け3作業所に届けることができました。よくぞ尼崎障害者センターを設立していたことでした。

尼崎障害者センター基金について

本基金は尼崎市の障害者・家族・障害者関連団体・作業所等を支援するNPO法人尼崎障害者センターが定款に拠り行う障害者支援事業を補助することを目的としています。

市内の障害者団体・障害者作業所への支援事業を、民間からの財政支援によって補助するため、広く市民・企業・団体などへ基金への協賛をお願いいたします。

＜障害者支援のための 尼崎障害者センター基金 への振込先＞

ゆうちょ銀行：振替口座 00930-0-156834

加入者名：尼崎障害者センター基金

尼崎信用金庫：（普通）大庄 4023860

口座名義人：尼崎障害者センター基金

第1期収支決算書(2009年11月14日第2回定期総会)

2008年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

2008年12月25日から2009年10月31日まで

特定非営利活動法人尼崎障害者センター

科目	予算	決算金額(単位:円)	
I 経常収入の部			
1 会費収入			
正会員	25,000	19,000	
個人賛助会員	20,000	0	
団体賛助会員	55,000	0	19,000
2 事業収入			
団体作業所に係る事務支援事業	0	4,000	
生活・福祉制度に係る相談事業	0	0	
福祉に係る広報発信事業	10,000	20,000	
地域共生に係る市民協働事業	0	0	
作業所・地活センター・事業所の運営支援事業	0	5,000	
尼崎障害者センター基金の管理運営事業	0	0	29,000
3 寄付金・補助金・借入金収入			
センター基金寄付金	100,000	0	
センター寄付金		46,000	
しみん基金こうべ補助金	300,000	300,000	346,000
4 雑収入			
受取利息収入	0	97	97
経常収入合計(A)			394,097
II 経常支出の部			
1 事業費			
団体作業所に係る事務支援事業	165,000	39,500	
生活・福祉制度に係る相談事業	165,000	78,981	
福祉に係る広報発信事業	5,000	31,150	
地域共生に係る市民協働事業	5,000	0	
作業所・地活センター・事業所の運営支援事業	15,000	148,000	
尼崎障害者センター基金の管理運営事業	140,000	12,500	310,131
2 管理費			
事務消耗品費	5,000	1,600	
通信費	5,000	17,320	
旅費交通費	5,000	1,120	
法人設立準備費	0	30,605	50,645
経常支出合計(B)			360,776
経常収支差額(A)-(B)			33,321
当期収支差額			33,321
設立時資金有高			20,000
次期繰越収支差額			53,321

「しみん基金・こうべ」より30万円の助成を受けました

2008年10月23日、神戸で「しみん基金・KOBÉ 公開プレゼンテーション審査会」があり、上野さん（尼崎市リハビリ友の会）・広瀬代表理事が行って来ました。

私たちは、20団体のうち7番目の発表でした。市内の障害者関連の有志が障害者支援になることなら何でもやろうと集まった後方支援の法人であること、定期的な支援を続けるために障害者や福祉従事者を時間雇用して報酬をお渡ししたいこと、市民・企業へ民間支援を募る「基金」を設けることなどをお話しました。その後、審査員より本基金の使い道などの質問があり、その結果、市内の障害者団体・作業所・事業所への事務支援・相談支援の費用および「尼崎障害者センター基金」を広報するための通信費や印刷費に使用する目的で30万円の助成を受けました。

この補助金により、継続的な事務支援事業を行う1名の障害者を時間給雇用(272時間)できました。そのことにより支援事業がボランティア的な不定期の活動にとどまらず、たとえば義援金寄付者へのお礼状が10日以内に着実に届くなど、安定した事務作業ができました。

この広報活動の成果で、2009年度は58万円の寄付実績を積むことができました。

地域活動支援センターパソコン工房チャレンジを来年4月に発足予定

来年2011年4月より、当法人が運営主体となり、常時開設の「地域活動支援センターパソコン工房チャレンジ」を設立する予定です。

障害者がより高度なパソコン力を身につけて、一般就労・自宅就労や社会参加をしていく上での助けになる目的で、就労を目指すパソコン研修や社会参加のためのパソコン学習を行う場所を開きます。開設の場所を探しています。ご紹介下さい。

また、当法人の経営による「パソコン工房チャレンジ」の開設により、わたしたちが定款によりめざしている色々な障害者支援事業を行う人員や拠点が確保でき、安定した事業運営が可能になることを期待しています。

現在、来年の4月の設立を目標に広瀬代表理事・曲さん・赤崎さんの3名で、運営規定の検討・入所予約障害者の募集パンフレットの作成や設置申請書の粗書きなどの準備を進めています。

開所後は、NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎と連携を結び、パソコンの機材や工房への講師派遣など、全面的に協力して頂く予定です。

入所者の「一般就労支援」、「工房内就労支援」、「パソコン学習支援」、地域の一般市民や障害者のための「有料のパソコン教室」の4つのコースを設けて、一人ひとりの希望に沿ったカリキュラムを作成し、パソコンを気軽に楽しく学んで頂けるようにサポートしていきます。



広報誌「力を合わせて」の有料読者の拡大にご協力ください。

この度、当法人の尼崎市内の障害者団体・作業所・事業所への支援活動事業を地域の企業・市民・関連団体などに幅広く広報していく目的として、広報誌「力を合わせて」を発行することになりました。創刊号のようやくの発行です。

多くの方々に広報していくため、「読者 200 名以上、購読者 8 割以上」を実現し、低料郵便物送付の認可を受けた上で、尼崎市内の障害者活動の紹介・当 NPO 法人の支援事業報告・障害者福祉情報などを満載した広報誌にしたいと考えています。有料購読者（10 回送付分 500 円）の拡大にご協力下さい。連絡は下記まで。



あしあと



2008/8/30 設立総会開催。会員 15 名で発足。

2008/10 「しみん基金・こうべ」助成 30 万円

支援事業人件費として審査決定

2008/12/19 兵庫県よりNPO法人認証

2008/12/25 法人登記完了。法人成立の日

2009/1/23 第 1 回法人総会

2009/1 団体事務支援事業開始

2009/3 作業所支援事業開始

2009/3/23 市内3組織で連携し、市場火災類
焼作業所へ支援活動を開始。

2009/6 市内作業所訪問を開始

2009/6/23 義援金 166 件 325 万円が寄せられ
ました。皆さまのご厚意に感謝です。

2009/7/11 第1回尼崎障害者センター基金運営
委員会の開催

2009/8 携帯電話による相談支援事業開始。



理事・監事

代表理事：広瀬 徹（障害者人権擁護センター尼崎代表）

副代表理事：伊東 勇（NPO法人尼崎市身体障害者連盟福祉協会理事長）

理事：大形 博史（NPO法人サニーサイド副理事長）

監事：平坂 春雄（NPO法人さつき福祉会理事長）

会 員

正会員：年会費 1,000 円

賛助会員：個人年会費 一口 1,000 円

団体年会費 一口 5,000 円

尼崎信用金庫(普通)立花支店 4001568

名義人：尼崎障害者センター

あとがき

創刊号だけにレイアウトの面では、かなり苦勞しました。当広報誌が地域の障害者情報誌になるようにスタッフ一同、作っていきますので、よろしくお願ひします。

編集担当 曲 圭子

発行：NPO法人 尼崎障害者センター

定価 50 円

所在地：尼崎市大庄北3丁目25番地1-104号

電話：06-6418-2120 ファックス：06-6418-1342

URL：<http://amasgscenter.web.infoseek.co.jp/>

E-mail：amasgscenter@yahoo.co.jp

編集責任者：広瀬 徹